

専修大学北上高等学校

# 創立70周年記念誌

| 1951 ▶▶ 2021 |



学校法人北上学園

# 受けつごう 専北の



# 夢と歴史と伝統を



専大北上高校70周年記念 キャッチフレーズと全校生徒による人文字のシンボルマーク

2021年5月12日撮影





学校法人北上学園 理事長

宮岡 孝之

## 100周年を見据えて

本校は、昭和26年に開校した黒沢尻女子高等学校を前身とし、70年という歴史を刻み、社会に2万3000名余の人材を輩出してきました。


高等学校教育を取り巻く環境はきびしいものがあります。いわゆる2040年問題として取り上げられる人口減少は生徒数自体の減少と直結しており、学校経営の根幹である定員確保に困難な問題を投げかけています。この現実を見て、本校の経営で何を目指すかという問題を考えなければなりません。

そこで、本校の現状を分析すると、部活動を行う生徒からの評価は高いものがあります。部活動の成果は多岐にわたりますが、サッカー部や軟式野球部など目覚ましいものがあります。進学面では、専修大学への進学が一定数確保されるなどの成果が見られます。ただ、高等教育で修得すべきいわゆる社会的常識に属する知識が身につけられているかは、疑問なしとしません。この点が、今後の改善点であると考えています。

そして、校舎等の施設面を考えると1号館は建築後50年を経過しており、施設の劣化が進んでいます。昨今の夏の高温化等を考えるとエアコン設備がないと授業開催さえ困難となる状況です。そのため、新1号館建築を早急に検討する必要があり、来年度にはその着手を予定しています。新校舎は北上市の防災拠点としての機能を果たすとともに、コミュニティーセンターとしての役割を果たすことも考えています。

本校が、北上市に存在することの意義を再確認し、生徒のやる気を引き出し、本校で学んだことを誇りとし、社会で活躍する人材の輩出に、教職員一丸となって努めます。そして、70周年を契機として今後30年の在り方を考えていきます。そのため、卒業生、北上市をはじめとする関係各位のご指導を頂ければ幸いです。





専修大学北上高等学校 校長  
阿部 伸

## 未来を創る学びの実現に向けて

本校がその時々の艱難辛苦を乗り越えて、多くの卒業生・教職員の努力はもちろんのこと、北上市をはじめとする多くの関係各位のご尽力により、創立70周年を迎えることができましたことは、この上ない喜びであり、先人のご努力に対し、改めまして心からの感謝と敬意を表します。

さて、高校教育を取り巻く環境は、年々厳しさを増し、地方の人口減少、少子高齢化が進行し、本校においても生徒募集が難しい状況にあります。そのような中ではありますが、私学として一層の特色と魅力ある教育を展開するため、「学びの改革」「環境の改革」「マインドの改革」など様々な改革を掲げ、取り組んでおります。令和4年度入学生から新学習指導要領の完全実施に合わせ、科名の変更や新たなコース・専攻の編成など『未来を創る学び』の実現に向けて、準備に励んでいます。これからの社会は、凄まじいスピードで変化していくことが予想されます。現在のコロナ禍に代表されるように答えを簡単に導き出すのが難しい情勢にあっても、未来を切り拓いていく力を身につけさせる教育に取り組んでまいります。

来年度から新校舎の建設がスタートします。全館冷房完備とICT化により、新たな学びに相応しい環境を整備し、本校のより一層魅力ある教育を実現させます。本校の最大の武器は、一人ひとりの可能性を引き出し大切に育てていく、多様性を活かした教育にあります。脈々と受け継がれてきたその精神を、北上市をはじめとする様々なかたちでご協力をいただく関係の皆様と連携を取りながら、生徒・教職員一同、一丸となってさらなる発展に向かい、邁進する所存であります。

結びに、この専修大学北上高等学校がさらなる飛躍を重ね、次の80周年、そして100周年、さらにその先へと受け継がれていくように精進し続けることをお誓いし、挨拶といたします。



## 創立70周年に寄せて

専修大学 学長  
佐々木 重人

専修大学北上高等学校が創立70周年を迎えられましたことを心よりお祝い申し上げます。70年もの歴史を刻む中には、諸先達の学校教育に対する情熱と真摯な取り組みがあり、それらを脈々と受け継いでこられた多くの関係者のご尽力があったものと拝察いたします。あらためて敬意を表するとともに、深く感謝いたします。

貴校の近年の躍進は目覚ましく、たとえば部活動においては男子サッカー一部が第98回全国高校サッカー選手権大会へ初出場、女子サッカー一部が全国高校女子サッカー選手権大会に5大会連続出場（第25回～29回）、吹奏楽部がマーチング全国大会に11年連続出場されるなど、胸が躍る嬉しい出来事でした。また、北上市と「SDGs実現に向けた『人材育成推進を目的とした連携協定』」を締結（2020年）されたことは、SDGsへの取り組みを推進する専修大学と軌を一にするものであり、今後ご協力できる部分があるのではと考えております。

専修大学は21世紀ビジョンとして「社会知性の開発」を掲げ、複雑化する現代社会の諸課題を地球的視野から捉え解決する力、創造的発想力、さらには深い人間理解や倫理観を持つ有為な人材を育成することを目標としています。未来を見据え着実に地域社会と信頼関係を築いてこられた貴校とともに、今後もより良い関係を築き、互いにさらなる飛躍を遂げることを希望いたします。

末筆ながら、貴校の益々のご発展を心より祈念いたします。

この度創立70周年を迎えられました専修大学北上高等学校に心よりお祝いを申し上げます。これまでたゆみなく有為な人材を輩出してこられた70年にわたる教育活動の歴史に甚大なる敬意を表します。私たちの石巻専修大学にも、平成元年の開学以来有能な卒業生を数多く送り込んでいただき誠にありがとうございました。

さて、貴校にとっても本学にとっても開学以来の最大の危機は10年前の東日本大震災ではなかったでしょうか。震災前の平成21年12月に「専修大学北上高等学校と石巻専修大学における高大連携に関する協定」を締結し、連携を深めていた貴校の存在が、震災被害の中核に位置する本学にとって、復興に向けての大いなる励みとなりました。協定に基づく高大連携事業「総合科目」では、私も何度か貴校の3年生を対象とした授業をさせていただきました。受講する生徒さんの好奇心に輝く目と、課題レポートに表現された異質なものに触れた驚きと素朴な疑問には、大学の授業では感じられない新鮮さを実感いたしました。

また、貴校の卒業生に新たな選択肢を提供する「石巻専修大学と専修大学北上福祉教育専門学校の編入学に関する協定書」を平成28年7月21日に締結しました。その結果、本年3月20日の学位記授与式において、北上福祉教育専門学校を卒業し本学に編入学した学生さんが川島記念学術賞を受賞されましたことは、私にとっても無類の喜びでした。

このように交流を深めることができたのは、専修大学北上高等学校をはじめとする学校法人北上学園の教職員の皆様のご理解とご尽力の賜物だと思います。貴校の皆様にご改めてお礼を申し上げますとともに、専修大学北上高等学校のさらなるご発展をお祈り申し上げます。



## 専修大学北上高等学校 創立70周年を祝して

石巻専修大学 学長  
尾池 守





## 100周年に向け 更なる躍進を

前同窓会長

高橋 勝

母校創立70周年、誠にありがとうございます。同窓会を代表してご挨拶させていただきます。

本校の同窓会は、令和3年3月まで67回の卒業生を迎え、23,000人を超える会員を抱える組織となり、今回の70周年記念を晴れて祝うことができることは、会員・役員一同喜ばしい限りと感じているところです。組織は本部の北上をはじめ支部として東京・仙台・盛岡・花巻・胆江の5つの支部、そして市内の職場に専北会があり関係各方面で活躍しております。

私は、昭和42年3月に卒業しましたが我々団塊世代の卒業生は920名で商業科8クラス、普通科6クラス、家庭科、建築科各2クラス、土木科1クラスと一番多い時代でした。

本校はその後建学の精神「報恩奉仕」を継承され多くの卒業生が巣立っており、専大北上高生のひたむきに努力する姿は地域に愛され、また、地域住民は専大北上高生と共に歩んで参りました。念願の硬式野球部甲子園出場も市民を挙げての祝福と応援がつい昨日のように思い出されます。

幸いここ数年の間、各部活動が活発になるにしたがって、明るく元気よく、かつ礼儀正しいという生徒の姿が見えるようになったと感じているのは私だけでしょうか。

熱心な教育と慈愛に満ちあふれた指導によって進学率、就職率も良く生徒たちの人間性を大きく伸ばして下さる素晴らしい学校です。校内活動のみならず校外での活動も活発で多くの地域住民の皆様とかかわることにより、調和を何よりも大切なものと位置づけた教育を一貫されています。それによって生徒たちは理想的な人間像を獲得し、大きく羽ばたくことができます。

そして今後の100周年に向けて更なる躍進と新たな歴史を後輩諸君が刻み続けてくれることを会員・役員一同願っております。

私たち同窓会は、今後も母校の発展と在校生の多方面にわたる活躍のために、末永く応援役を努めることをお約束してお祝いの言葉とします。

専修大学北上高等学校が創立70周年を迎えられましたことを心からお祝い申し上げます。

令和元年から娘が本校にお世話になり、今年縁あってPTA会長を拝命いたしました。専修大学北上高等学校は、教職員のチームワークが良く、きめ細やかな指導と卒業生とのつながりや同窓会との連携が強く、同窓会・地域・PTAとの強い連携により生徒に対して豊かな学びと充実した部活動の場を実現してくださっていることに、教職員をはじめ同窓会や保護者、関係各位に対しまして心から敬意を表するとともに感謝申し上げます。

現在、新型コロナウイルス感染症の拡大が続いております。昨年は、授業の休講や修学旅行の中止、部活動においては練習の制限や対外試合の自粛、そして生徒たちが目標としてきた高総体をはじめ甲子園やインターハイなどの大会も中止となりました。また今年になっても、生徒にとっては活動が制限され、心身ともに苦難の日々が続いております。またPTA活動においても、地区懇談会の中止など、多くの事業が中止となっています。

振り返りますと、60周年の年には忘れることのできない「東日本大震災」が発生し、大地震や大津波によって多くの犠牲者と甚大な被害を受けた年でした。創立60周年記念誌には、「…こうした時だからこそ在校生、卒業生及び職員の結束を強め協力し合い、必ずこの震災の復興に寄与することを確信しております。」と記してあります。新型コロナウイルス感染症は震災とは違いますが、経済活動をはじめ社会生活全般に大きなダメージを与えております。この度の困難も在校生、卒業生及び職員の結束を強め協力し合い、必ずや更なる飛躍につなげるものと存じます。

少子化と人口減少が進む今日にあって、地域の発展は人づくりにかかっております。専修大学北上高等学校は、地域と連携し社会で活躍できる即戦力を育てるとともに、専修大学をはじめとした高等教育機関や専門学校との連携により多くの人材を送り出しております。専修大学の建学の精神である「報恩奉仕＝家族、友人、地域の方々から受けた様々な恩に報いて社会に奉仕する人格を形成する。』のもとに、地域愛溢れる生徒の活躍と、専修大学北上高等学校のますますのご発展を心からご祈念申し上げます。



## 創立70周年を祝して

PTA会長

高橋 稔至



# 報 ほうおん 奉

## 誠 実 行 力

生き生きとした  
笑顔あふれる明るい学園づくり

### 普通科

(定員185名)

普通科は令和4年度より、2コース5専攻に  
改編します

本校普通科は、大学進学から各種学校・就職まで幅広い進路に対応した学科です。今までは、各進路に対応した3コース(特進・大進・総進)の設定でしたが、令和4年度入学生からは学び方や学ぶ内容による、DL(Deep Learning)コースとAL(Active Learning)コースの2コースを設置します。

DLコースは2年次、学問探究専攻とPBL専攻(プロジェクトベースラーニング=課題解決型学習)に分かれ、「より深い学び」を実践します。ALコースは2年次から、福祉・保育・幼児教育専攻、情報ビジネス専攻、スポーツ専攻に分かれ、「本学園の学びのコンテンツ」を活かした、特色ある普通科教育を実践します。

自分が学びを深めたい専攻を選択し、将来を見据えたケアフルな進路指導とキャリア教育を施すことで、部活動や生徒会活動などで充実した高校生活を送りながら、4年制大学・短大・専門学校への進学や公務員・民間就職など様々な進路実現を可能にしていきます。



#### ●令和4年度入学生から

1 年 生	普 通 科	ディープ ラーニング コース(DL)	● 学問探究専攻 ●	● PBL専攻 ●
		2 年 生	アクティブ ラーニング コース(AL)	● 福祉・保育・ 幼児教育専攻 ●
3 年 生	● 情報ビジネス専攻 ●			
	● スポーツ専攻 ●			

#### ●1年次カリキュラム (令和3年度・総合進学コース)

	月	火	水	木	金
1	国 語	数 学 I	国 語	数 学 I	英 語
2	現 社	体 育	コミュ英	国 語	家 庭
3	数 学 A	コミュ英	体 育	英 語	家 庭
4	化 学	情 報	芸 術	化 学	数 学 I
5	芸 術	国 語	数 学 A	情 報	国 語
6	コミュ英	保 健	現 社	体 育	コミュ英
7		L・H・R	総合探究		

※特別進学コースでは0時間目・土曜課外授業・模擬試験・探究等を行っています。



# 恩

ほうし

# 仕

善の心を持って  
社会に奉仕できる人間の育成

# 質実剛健

## 商業科

(定員80名)

商業科は

令和4年度より、グローバルビジネス科  
(GB科)に名称変更します

商業科は、本校で最も歴史のある科であり、数多くの卒業生を輩出してきました。現在も北上・金ケ崎地区唯一の商業科です。GB科では、会計とビジネスを中心に学び、数多くの資格取得を目指すほか、「プロジェクト探究」では「専北マルシェ」に代表されるような地域と連携した探究活動に取り組みます。そして3年次に「グローバル経済」を学ぶことにより、科名の通りグローバルでローカルな商業について学んでいきます。

就職はもちろんのこと、大学・短大への進学も可能であり、専修大・石巻専修大や公務員(中央省庁・市役所等)への合格も果たしており、自分の望む進路実現が可能です。

### ● 3年次授業カリキュラム(令和3年度)

	月	火	水	木	金
1	国語表現	電子商	総合実践	国語表現	国語表現
2	電子商	数学演習	電子商取	現代社会	ビジ経済
3	現代社会	総合実践	財務会計	コミュ英	コミュ英
4	体 育	体 育	ビジ経済	財務会計	財務会計
5	数学演習	財務会計	現代社会	数学演習	家庭基礎
6	財務会計	ビジ経済	体 育	英語会話	家庭基礎
7		L・H・R	総合探究		

## 自動車科

(定員35名)



自動車科は、未来を創るエンジニアの  
育成を目指します

岩手県南部を中心に自動車関連企業が広がりを見せる中で、本校自動車科は、岩手県で唯一、東北でも数少ない科として、より一層存在感を増しています。

週に1度、付設の自動車工場で実習を行い、3級自動車整備士の受験資格(実技免除)を得るほか、危険物取扱者・溶接技能講習等の資格取得を目指します。また、同じ専修大学グループである石巻専修大学理工学部には自動車工学コースがあり、在学中も様々な連携を図りながら、さらに進学すれば7カ年の教育によってさらなる技術・資質の向上が可能です。

### ● 3年次授業カリキュラム(令和3年度)

	月	火	水	木	金
1	自動車整備	国語表現	課題研究	機械製図	自動車実習
2	体 育	現代社会	国語表現	国語表現	自動車実習
3	自動車構造	体 育	自動車整備	現代社会	自動車実習
4	情報技術	英語会話	数学演習	体 育	自動車実習
5	機械製図	自動車整備	情報技術	数学演習	自動車実習
6	課題研究	自動車構造	英語会話	自動車整備	自動車実習
7		L・H・R	総合探究		



# 60年を振り返る

戦後数年の混沌の中、1951年の学校開設からはじまった栄光の歴史は、2011年にひとつの節目とも言える開校60周年を迎えました。その60年間の歩みは、その後の10年の輝かしい躍進への深遠な礎となりました。

## 1951 (昭和26年)

- 学校法人黒沢尻女子学園設置
- 1947(昭和22)年に創設された岩手洋裁専門学院を母体に、黒沢尻女子高等学校を擁して開設。



## 1954 (昭和29年)

- 高等学校に商業科を設置

## 1955 (昭和30年)

- 黒沢尻女子高等学校の女生徒363名が電球を売って資金を調達してピアノ購入

## 1957 (昭和32年)

- 北上商業高等学校並びに北上洋裁専門学院となり、校名変更に伴い、高等学校が男女共学となる。
- 新校舎を現在の北上市新穀町に建設し移転
- 高等学校の校歌制定される

## 1960 (昭和35年)

- 陸上部・全国高校総体に初出場

## 1961 (昭和36年)

- 専修大学附属北上商業高等学校に校名変更
- スキー部、全国高校総体に初出場

## 1962 (昭和37年)

- 高等学校に普通科を設置
- 学園祭終了後、バザー、マーケット等の収益金により全校いものこ会を開催。昭和50年まで続いた。

## 1963 (昭和38年)

- 専修大学北上高等学校に校名変更
- 寄宿舎北鳳寮(木造2階建)新築

## 1964 (昭和39年)

- 土木科、建築科を設置(鬼柳校地)
- 女子寮建設
- 珠算部・第11回全国高等学校珠算競技大会に初出場
- 吹奏楽部・第1回定期演奏会を開催

## 1965 (昭和40年)

- 専修大学北上女子専門学院の付属実習施設を兼ね幼稚園を開設
- 第12回全国高等学校珠算大会で木曾賢一君が見取暗算で3位に入賞

## 1966 (昭和41年)

- 陸上部が高校駅伝県大会で2位に大差をつけて初優勝、京都での第17回全国高校駅伝に初出場。

## 1967 (昭和42年)

- 全国高校総体陸上800mで優勝。高校総体で優勝した栗村武志君は、国体でも県新、高校新で準優勝するなど活躍した。

## 1968 (昭和43年)

- 高等学校に自動車科を設置

## 1969 (昭和44年)

- 北上学園北上幼稚園を、専修大学北上幼稚園に名称変更

## 1970 (昭和45年)

- バドミントン部、県内の主要大会のタイトルを全て独占

## 1971 (昭和46年)

- 卓球部、全国高校総体に初出場

## 1972 (昭和47年)

- 硬式野球部、初の甲子園出場。前年の秋季大会、東北大会の活躍により第44回選抜高校野球大会に出場。2回戦まで勝ち進んだ。
- 1号館(鉄筋コンクリート3階建)完成

## 1976 (昭和51年)

- 専修学校令の制定により専修大学北上女子専門学院が専修学校として認可を受け、専修大学北上保育専門学校となる。

## 1977 (昭和52年)

- 「オアシス」運動開始。社会のルールやマナーの原点でもある挨拶の実践から生活規律を培うこと

を目指した。「オアシス」はオハヨウ、アリガトウ、シツレイシマス、スママセンの頭文字から。

## 1978 (昭和53年)

- アメリカ・テキサス州からロータリー交換留学生3名を含む一行が来校。1日かけて本校の授業を見学した。

## 1979 (昭和54年)

- 国際ロータリーの交換留学生として、カナダからディール・ハリアくんが来校、普通科クラスの一員として1年間ともに学んだ。日本語、日本文化について勉強したほか、算盤3級の資格も取得して帰国。

## 1980 (昭和55年)

- 北上学園創立30周年記念事業の一環として建築を進めていた男子寮「北鳳寮」が完成。鉄筋コンクリート3階建てで収容定員は75名。

## 1981 (昭和56年)

- 10月16日、北上ユネスコ協会の招きにより、ネパール王国から来北していたシャヒード高校教諭のバドマさんが本校を訪れ、授業の様子などを熱心に見学した。

## 1982 (昭和57年)

- 第34回高校総体・団体競技にて、体操部が念願の初優勝を果たし、鹿児島インターハイへ初出場。

## 1983 (昭和58年)

- 自動車科の生徒が3年がかりで製作した長さ3.5m、幅1.8m、重さ250kgのホバークラフト「鳳号」が完成。多くの支援に支えられ、北上から盛岡までを航行した。

## 1984 (昭和59年)

- 前年の県大会で入賞した吹奏楽部が第8回全国高等学校総合文化祭に初出場。53名の部員が参加し、会場となった岐阜市にてパレードやマーチングを披露した。

## 1985 (昭和60年)

- 本年度より修学旅行が沖縄になり、3月21日から3泊4日の日程で那覇を訪れた。南国の自然と風土に触れるとともに、平和祈念の集いなどを企画し、戦争と平和について考えを深める旅となった。

## 1986 (昭和61年)

- 強豪ひしめく第41回秋季国体の5000mに参加した熊谷勝仁君は1年生にかかわらず14分48秒という大会新記録でゴール、優勝を果たした。国体5000mの優勝は岩手県の陸上史上初の快挙。



## 1987 (昭和62年)

●12月16日、自動車科、商業科などの教室に加え、コンピュータ、ワープロを備えた情報処理室、商業実践室、商業準備室、製図室など四つの特別室を有した4階建ての新校舎、2号館が完成。



## 1988 (昭和63年)

●全校1382名が参加して、干支の巳年にちなんだヘビのモチーフの人文字を変化させ、2分50秒でツタンカーメンの黄金マスクを完成させた。生徒会が学園祭のイベントとして応募したもので、12月に日本テレビの番組内で放映され、「ダイナミック賞」を受賞。

## 1989 (平成元年)

●海外研修や国際交流を通じ、豊かな国際性を身につけた生徒の育成を目的に準備を重ねてきた「海外交流基金」制度がPTA総会にて承認され、平成元年5月に発足。第1回の海外研修は27名が参加。

## 1990 (平成2年)

●「広報専大北上」は、昭和34年「北商新聞」として創刊、その後、「専大北高新聞」を経て現在の形に至り、通算100号を迎えた。

## 1991 (平成3年)

●県大会を勝ち抜いて優勝した硬式野球部が、念願の夏の甲子園「第73回高等学校野球選手権大会」に初出場を果たし初戦を突破、新北上市誕生に花を添えた。

## 1992 (平成4年)

●広島東洋カープからドラフト5位に指名された井上浩司選手が入団の契約を結んだ。前年、阪神タイガースに入団した木立章成選手に続く快挙。

## 1993 (平成5年)

●体操部は4年連続、8度目の優勝を達成。陸上男子走り幅跳びでは、後藤健二君が大会新記録で優勝。柔道は団体でベスト8入り、軽中量級では高橋淳治君が3位に入賞、東北大会出場権を得た。また、ラグビー部も念願のブロック優勝を果たし、Bブロックへ昇格した。

## 1994 (平成6年)

●冬季海外研修として平成6年1月で5回目を数えるアメリカ合衆国・サンディエゴへの研修に加え、夏休みの新しい語学研修の試みとして、南半球のニュージーランド研修を今年より実施。ホームステイを中心にした15日間のプログラムに17名が参加した。

## 1995 (平成7年)

●6月18日、岩手県高野連理事会の主催による日米親善野球が盛岡市の県営球場で開催された。春の県大会を制した本校硬式野球部に対戦権が与えられ、マサチューセッツ、フロリダなど全米9州の中から選ばれた強豪18人から成るアメリカチームと対戦、10対10の引き分けと健闘。

## 1996 (平成8年)

●9月5日、東京大空襲の語り部として著名な作家、早乙女勝元さんの講演会を開催。「いのちと平和の尊さを」をテーマに繰り広げられた内容は生徒らに深い感銘を与えた。

## 1997 (平成9年)

●創部以来36年間、毎年インターハイ出場を果たしているスキー部。'98年銀河国体では伊藤宏君が大回転優勝の快挙を達成した。

## 1998 (平成10年)

●全国高校軟式野球奥羽大会で優勝、岩手県代表としては実に22年ぶりに全国大会へ出場した。初戦を突破、2回戦で敗れたものの、全国ベスト8入りを果たした。神奈川ゆめ国体にも出場した。

## 1999 (平成11年)

●岩手で開催されたインターハイ。その記念すべき大会に35年ぶり、2度目の出場を果たした女子ソフトボール部は、ベスト16まで進出。

## 2000 (平成12年)

●プロ野球ドラフト会議でヤクルトから指名を受けた畠山和洋選手は、本校野球部からは3人目のプロ選手となった。181センチ、86キロ、背番号33。

## 2001 (平成13年)

●プロ野球ドラフト会議でヤクルトが梶本勇介選手を指名。本校生徒として2年連続。  
●創立50周年を記念して7月に着工した記念館の名称を募集、「50(ゴーマル)記念館」と決定した。記念館1階はトレーニング室や建築システム科実習室、雨天練習場(ピロティ)、2階には柔道・剣道場、吹奏楽部練習場。

## 2002 (平成14年)

●第26回全国高等学校総合文化祭が開幕。吹奏楽部89名が横浜市内パレードの先頭に登場し、華麗で堂々たる演奏でオープニングを飾った。

## 2003 (平成15年)

●「平成15年度高校生世界の架け橋推進事業」の岩手県代表に、本校商業科3年菊池由李江さんが選ばれ、アメリカ・カンザス州で語学・生活文化を中心に学んできた。

## 2004 (平成16年)

●12月19日に埼玉スーパーアリーナで行われた第32回マーチングバンドバントワーリング全国大会において吹奏楽部が高等学校大編成の部で銀賞を獲得した。

## 2005 (平成17年)

●8月7日、全日本吹奏楽コンクール岩手県大会で、息の合った演奏で念願の最優秀賞(金賞)を獲得した。また第18回全日本マーチングコンテスト東北大会が10月30日行われ、東北大会優勝、見事全国大会への切符を手にした。

## 2006 (平成18年)

●移転した県立黒沢尻南高校跡地を学校法人北上学園が取得し、4月より使用決定。  
●高橋徳均生徒会長とプラタブ回収推進委員長の二貝圭介さんが北上市役所を訪問し、伊藤杉市長に車椅子2台を寄贈。2年をかけてプラタブ回収の活動を続け実現した。

## 2007 (平成19年)

●救命講習募集の看板を美術部の6名で作成。「救命戦隊」というイメージキャラクターを考え、夏休みを利用して制作したもので、これに対し北上地区消防組合消防本部より感謝状を頂いた。

## 2008 (平成20年)

●平成20年度同窓会定期総会で、在校生の活躍を知らせる「戦績掲示板」を学校に寄贈したいと提案があり、本校正面校門前に立派な「戦績掲示板」が設置された。

## 2009 (平成21年)

●新しい自動車科実習棟が完成したことを受け、4月からの授業を前に竣工・清祓式が行われた。  
●岩手県私学教育表彰(知事表彰)式が行われ、本校が表彰された。

## 2010 (平成22年)

●IAT(岩手朝日テレビ)主催の「純情応援歌2010」で本校放送委員会が制作した作品が、参加64校の作品の中から見事「IAT夏に輝く君たちへ賞」に輝いた。  
●6月、第62回高校総合体育大会岩手県大会で卓球部男子団体は5年連続17度目の優勝、体操部男子団体は3年ぶり18度目の優勝をそれぞれ果たし、沖縄インターハイに出場した。

## 2011 (平成23年)

●平成23年3月11日に三陸沖で海溝型地震、東日本大震災が発生した。この地震で大規模な津波が起こり、東北地方を中心に死者・行方不明者が計2万人以上の甚大な被害をもたらした。その恐ろしさを忘れないためにも6月15日に避難訓練を実施した。





# 10年の軌跡

2012~2021

夏服

NEW  
制服

平成24年度  
1年生から  
新制服で  
スタート

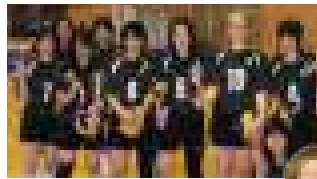


制服

2012

## 高総体

~北信越インターハイへ~



フランスからの留学生  
マノンさん来校



県大会 バドミントン女子団体3位



県大会 陸上男子やり投げ  
高橋正宏 優勝



県大会 体操男子優勝



吹奏楽部12年連続全国大会出場



全国高校サッカー選手権大会初準優勝



県大会 卓球男子団体2年ぶり18度目の優勝



軟式野球全国大会出場

●5月21日7時42分朝登校時部分日食  
(平安時代以来932年ぶり)

●ブルタブ・アルミ缶で車いす寄贈

●全校で取り組んだモザイクアート大成功

●マナトレがスタート(1年生)

2013



講師ダミアン・ロジェ=コカー院長  
日本とEUの関係やEUについて学ぶ



マノン・サルトリさん  
フランスへ帰国



吹奏楽部2大会で全国大会出場  
(大阪城ホール・  
さいたまスーパーアリーナ)



オーストラリア海外研修行を実施

## 高総体

~北九州インターハイへ~



北九州インターハイ出場  
卓球男子団体ベスト8進出(岩手県勢40年ぶりの快挙)



県大会 高総体女子サッカー初優勝



県大会 体操部4年連続21度目の優勝



2014



冬服

平成26年度  
全学年  
新制服揃う  
1年生から  
体育着一新

**NEW**  
**ジャージ**



千田省一先生  
学童保育のため長年自宅を提供  
金ヶ崎町から感謝状授与される



全日本卓球選手権岩手県予選  
卓球部・卓球部OB上位独占  
長崎国体  
成年男子卓球 専大北上OBの  
大学生3人が挑んで43年ぶり  
16強の壁を破り5位入賞



あの日から  
土だけになった  
見ていて思う  
「震災終わらぬ」  
街跡を

第28回東洋大学「現代学生百人一首」  
応募総数54,850首から100首選ばれる  
五十嵐遼太さん(自動車科)

一新

## 高総体

~南関東インターハイ~



県大会優勝 創部20年目でインターハイ初出場  
(女子サッカー公式戦5冠達成)



石巻専修大学経営学部石原ゼミ  
「サバだしラーメン」カップラーメン  
全国一斉発売(本校卒業生研究に係る)



南関東インターハイ出場  
(体操・卓球・バドミントン・  
女子サッカー)



第18回熱血オヤジバトル  
東日本ブロック第1位通過  
(菊池秀成先生)



第42回マーチング全国大会出場  
(14年連続全国大会出場)

- 全国高校野球選手権大会県大会ベスト4
- 全国高校サッカー選手権大会ベスト4
- 軟式野球部新人戦県大会優勝
- 及川将史先生硬式野球部監督就任



平成27年度芸術鑑賞  
「寺内タケシとブルージーンズ」  
エレキの神様・寺内タケシさん庄巻のギター  
~ギターは弾かなきゃ音が出ない~



佐藤達哉岩手銀行支店長  
「小さな親切」実行賞  
女子ソフトボール部に授与



第38回全国高校柔道選手権県大会  
女子団体3位・東北大会出場/男子団体ベスト8  
女子48キロ級優勝 齋藤明日香選手  
日本武道館で開催される全国大会出場



夏季(7月)冬季(11月)  
イーハトーブイングリッシュキャンプ・  
9月・10月いわてグローバル人材派遣  
テネシー・ニューヨーク・ワシントン16日間のアメリカ  
海外研修に参加アメリカ合衆国から届いた修了証書  
高橋等校長先生から中村公子さんへ手渡される



ヤクルトスワローズ畠山和洋選手(左)  
セ・リーグ最多打点賞(打点105)受賞  
11/13母校専修大学北上高等学校表敬訪問

- 男子卓球部県内大会すべて上位独占
- 軟式野球部新人戦東北大会 準優勝
- 女子サッカー一部公式戦 4冠達成
- 吹奏楽部マーチング全国大会15年連続出場  
第50回定期演奏会OB・OG賛助出演

2015

## 高総体

~近畿インターハイ~



君が創る近畿総体インターハイ14人出場(体操・卓球)



第74回岩手日報駅伝競走大会(6区間・49.2キロ)

専修大学北上高等学校 優勝 2時間37分0秒  
1993年(平成5年)第52回大会以来22年ぶり7度目の優勝

22年ぶりの優勝のゴールテープを切る  
専修大学北上高校のアンカー廣野智也選手



2016



日・韓・中ジュニア交流競技会  
日本代表 吉田俊輔選手  
中国浙江省寧波市で開催された  
日・韓・中ジュニア交流大会  
日本代表で吉田俊輔選手出場



双子の兄弟 本校OB都鳥伸也さん(左)・拓也さん(右)  
ドキュメンタリー映画『増田進～患者さんと生きる』制作  
北上市文化交流センターさくらホール大ホールで10/30上映  
近代的設備を捨て対話と触診の医療を続ける増田進医師の姿を追った  
心温まるドキュメンタリー映画



えびす宮総本社 西宮神社(兵庫県西宮市)  
開門神事「2017福男」1/10(火)  
本校OB鈴木隆司さん(専修大学3年)  
一番福を勝ち取りました



第93回東京箱根間往復  
大学駅伝競走(箱根駅伝)  
本校OB照井明人選手(東京国際  
大学4年)関東学生連合  
10区(23km)1時間10分58秒で  
力走(幻の区間賞)  
最終10区で21選手中トップのタイ  
ムでゴールした照井明人選手



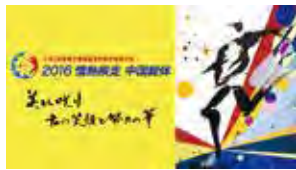
2016 希望郷 いわて国体

第71回国民体育大会 広げよう 感動。伝えよう 感謝。

第71回国民体育大会「希望郷いわて国体」  
専大北上から 選手22名・教員4名出場

高総体

～中国インターハイへ～



2016 (インターハイ)  
情熱疾走中国総体  
専大北上から10名出場



岩手から初!  
全日本高等学校女子サッカー選手権大会出場



Classi導入



人気声優200人が本気で選ぶ!声優総選挙  
本校OB藤原啓治さん堂々第3位  
2017/1/9(月)テレビ朝日19時～21時47分放送

- 第71回国民体育大会で軟式野球部第3位
- 吹奏楽部マーチング全国大会16年連続出場
- 男子サッカー選手権決勝で涙(準優勝)
- 平成28年度から  
修学旅行台湾コース実施

2017



小野寺翔平  
東京卓球選手権ジュニアの部準優勝  
ベトナム・ゴールデンラケット大会日本代表



軟式野球部5年ぶり5度目全国大会出場  
PL学園破り準々決勝進出「笑顔つなぐえひめ国体」軟式野球部出場



箱根駅伝2区を先導する  
神奈川県警察機動隊  
本校OB本城佑樹巡査部長



プロ野球中日・巨人・西武で活躍した  
中尾孝義さん(左) 硬式野球部監督に就任

高総体

～南東北インターハイへ～

2017南東北総体「繋がる絆魅せよう僕らの若い力」  
専大北上から卓球・柔道・体操・陸上4競技14名出場



インターハイ柔道女子  
齊藤明日香 ベスト16



卓球部 吉田俊輔選手  
日本代表でベトナムへ  
日本代表ウェアを身に包む

- 男子卓球部 県高総体6年連続団体優勝
- 女子サッカー2年連続2度目全国大会出場
- 2017年度私学教育表彰団体の部受賞  
(卓球部・軟式野球部・女子サッカー部)
- 吹奏楽部マーチング全国大会17年連続出場
- 第72回国民体育大会  
「笑顔つなぐえひめ国体」男子卓球部出場





広報委員会ニュース第1号(2006年(平成18)6月5日(月))からスタート  
専大北上ニュース(改名)(2012年(平成24年)4月2日(月))～  
専大北上ニュース第300号(2018年(平成30年)4月26日(木))



アメリカオハイオ州出身の  
レイチェル・グレゴリー先生着任



第41回岩手県高等学校総合文化祭  
美術工芸展 絵画部門 特賞・全国展推薦  
「自分を探す自分を生きる」 佐藤 静音



岩手日報社主催  
「高校生のための文化講演会」  
「好きなことを仕事にして生きて行こう」  
講師:横森理香先生(作家・エッセイスト)

一般財団法人マルチメディア振興センター主催  
平成30年度「情報通信の安心安全な利用のための標語」  
普通科1年千田晴香さん見事「協議会長賞」受賞  
6/11(月)メルパルク東京で表彰式が行われました

## 高総体

～東海インターハイへ～



体操部東海インターハイ出場



軟式野球県新人大会優勝



スマートフォン回収スタート



吹奏楽マーチングバンド全国大会出場  
(さいたまスーパーアリーナ)



県大会 高総体卓球部団体優勝



全日本高等学校  
女子サッカー選手権大会



岩手県御大礼奉祝式典で本校吹奏楽部  
演奏披露



本校教員全員  
専修大学北上福祉教育専門学校訪問



専修大学社会知性フォーラム開催



男女アベック出場の両サッカー部に  
JAより記念品贈呈

## 高総体

～沖縄インターハイへ～



男子サッカー部  
県高校総体初優勝  
沖縄インターハイ出場



世界最高峰のパレードイベント「ローズパレード」  
本校吹奏楽部8名が日本選抜バンド東北地区代表として出場



住吉こゆき選手  
ボクシングで全国準優勝  
レスリングでも県大会優勝



「税に関する高校生の作文」  
花巻税務署長賞受賞 北島奏音さん



卓球部OB小野寺翔平選手(中央大学1年)  
スペインスーパーリーグ「モンテポロ」に所属しプロデビュー



第98回全国高校サッカー選手権大会 1回戦 専大北上3-1龍谷(佐賀県)  
初出場初戦勝利は岩手県勢62年ぶり快挙



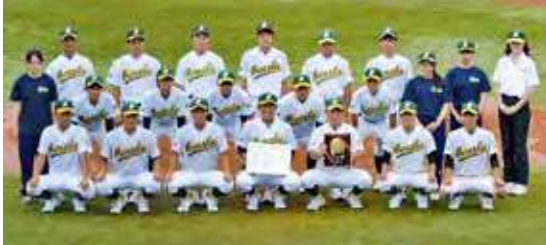
2020



新型コロナウイルスもあり、教育用プラットフォーム「classi」を特別進学コースから全校に拡大導入



文化庁芸術家派遣事業でプロ奏者が吹奏楽部に直接指導



軟式野球部が東北大会で優勝



秋深まる詩歌の森で初の「専北マルシェ」開催



岩手県営体育館にてマーチング発表会開催



北上市との間で人材育成に関する連携協定締結



全日本管打楽器ソロコンテスト東北大会に2名進出



10月29日休生徒総会で審議された女子制服(スカート・スラックス)選択制 防寒・多様性に配慮し令和3年4月から導入



津軽三味線奏者3代目 井上成美さん「性同一性障害を乗り越えて」と題する講演会



高征車輛さんから自動車科にマツダデミオ贈呈される



澤田悠軟式野球部前主将 日本高野連優秀選手に輝く

2021



1号館校舎建て替え業者を選定



専大北上ニュース4000号に到達



佐藤組様から硬式試合球40ダース寄贈



# 10年間の主な部活動戦績

(2012~2021)

## 2012

- ◆**軟式野球部**
  - 高総体 優勝 ●県大会 優勝
  - 北東北大会 優勝 ●新人大会 優勝
  - 秋季東北地区大会 優勝
- ◆**陸上部**
  - 高総体 男子やり投げ 優勝
  - 東北大会 男子やり投げ 優勝
  - 県民大会 男子やり投げ 優勝
- ◆**体操部**
  - 高総体 団体 優勝 個人総合 優勝
  - 床・鞍馬・つり輪・平行棒 優勝
  - 県民大会 団体 優勝 個人総合 優勝
- ◆**柔道部**
  - 1・2年生体重別大会
  - 男子 73kg級 優勝
- ◆**卓球部**
  - 高総体
  - 男子団体・ダブルス・シングルス 優勝
  - 新人大会
  - 男子団体・ダブルス・シングルス 優勝
  - 全日本大会県予選
  - ダブルス 優勝
  - 一般・ジュニア シングルス 優勝
  - 東京大会県予選
  - ダブルス 優勝
  - 一般・ジュニア シングルス 優勝



## 2013

- ◆**体操部**
  - 高総体 団体 優勝
- ◆**サッカー部(女子)**
  - 高総体 優勝 ●県大会 優勝
- ◆**柔道部**
  - 1・2年生体重別大会
  - 男子 81kg級 優勝
- ◆**ソフトボール部**
  - 県民大会 優勝 ●若あゆ大会 優勝
- ◆**卓球部**
  - 高総体
  - 男子団体・ダブルス・シングルス 優勝
  - 新人大会
  - 男子団体・ダブルス・シングルス 優勝
  - 全日本大会県予選
  - ダブルス・ジュニアの部 シングルス 優勝
  - 東京大会県予選
  - ダブルス・ジュニアの部 シングルス 優勝
- ◆**レスリング部**
  - 高総体 個人 96kg級 1位
  - JOC杯ジュニアオリンピック大会
  - 北海道・東北ブロック予選
  - 個人 100kg級 1位
- ◆**美術部**
  - 全国地域安全運動モデルポスター
  - 「子どもと女性の犯罪防止」
  - 最優秀賞受賞
  - 「振込詐欺被害防止」
  - 最優秀賞受賞
  - 「住宅を対象とした侵入犯罪防止」
  - 最優秀賞受賞

## 2014

- ◆**軟式野球部**
  - 新人大会 優勝
- ◆**陸上部**
  - 高総体 三段跳 1位
  - 県民体 走幅跳 1位
  - 新人大会 五段跳 1位
- ◆**体操部**
  - 高総体 団体 優勝
- ◆**サッカー部(女子)**
  - 高総体 優勝 ●県大会 優勝
  - 県リーグ(女) 優勝
  - 全日本大会県大会 優勝
- ◆**ソフトボール部**
  - 秋季北東北フェスティバル 優勝
  - 秋田ドーム大会 優勝
- ◆**卓球部**
  - 高総体
  - 男子団体・ダブルス・シングルス 優勝
  - 新人大会
  - 男子団体・ダブルス・シングルス 優勝
- ◆**レスリング部**
  - 新人大会 個人 96kg級 1位
- ◆**美術部**
  - 全国地域安全運動モデルポスター
  - 「住宅を対象とした侵入犯罪防止」
  - 最優秀賞受賞

## 2015

- ◆**軟式野球部**
  - 高総体 優勝 ●県大会 優勝
  - 新人大会 優勝
- ◆**陸上部**
  - 高総体 走幅跳 1位
  - 県民大会 走幅跳 1位
  - 日報駅伝 優勝
- ◆**体操部**
  - 高総体 つり輪 優勝
  - 東北大会 つり輪 優勝
- ◆**サッカー部(女子)**
  - 高総体 優勝 ●皇后杯県予選 優勝
  - 県大会 優勝 ●新人大会 優勝
- ◆**柔道部**
  - 新人大会 女子個人 48kg級 優勝
  - 県大会 女子個人 48kg級 優勝
- ◆**ソフトボール部**
  - 置賜桜杯フェスティバル 優勝
- ◆**卓球部**
  - 高総体
  - 男子団体・ダブルス・シングルス 優勝
  - 新人大会
  - 男子団体・ダブルス・シングルス 優勝
- ◆**レスリング部**
  - 高総体 個人 96kg級 1位
- ◆**美術部**
  - 全国地域安全運動モデルポスター
  - 「振り込め詐欺被害防止」
  - 最優秀賞受賞



## 2016

- ◆**軟式野球部**
  - 高総体 優勝 ●県大会 優勝
  - 新人大会 優勝
- ◆**陸上部**
  - 高総体 八種競技 優勝
  - 新人大会 3000mSC 優勝
- ◆**体操部**
  - 高総体 団体 優勝
  - 東北大会 鞍馬 優勝
- ◆**サッカー部(男子)**
  - 県リーグ(D1・D2) 1位
- ◆**サッカー部(女子)**
  - 第22回岩手県女子サッカーリーグ1部
  - ILAリーグ戦 優勝
  - 高総体 優勝 ●県大会 優勝
  - 新人大会 優勝
- ◆**柔道部**
  - 高総体 女子個人 48kg級 優勝
  - 1・2年生体重別大会
  - 女子 48kg級 優勝
  - 新人大会 女子個人 48kg級 優勝
  - 選手権大会 女子個人 48kg級 優勝
- ◆**卓球部**
  - 東北大会 男子シングルス 優勝
  - 新人大会
  - 男子団体・ダブルス・シングルス 優勝
  - 女子ダブルス 優勝
  - 高総体
  - 男子団体・ダブルス・シングルス 優勝
  - 全日本大会県予選
  - 男子ジュニアの部 優勝
  - 東京大会県予選
  - 男子ジュニアの部・ダブルス 優勝
- ◆**剣道部**
  - 県大会 個人 優勝
- ◆**美術部**
  - 全国地域安全運動モデルポスター
  - 「住宅を対象とした侵入犯罪防止」
  - 最優秀賞受賞
  - 北上市明るい選挙ポスター
  - 最優秀賞受賞
  - 「介護の日」ポスターコンクール
  - 最優秀賞受賞

## 2017

- ◆**軟式野球部**
  - 高総体 優勝 ●県大会 優勝
  - 北東北大会 優勝
- ◆**陸上部**
  - 高総体 3000mSC 1位
- ◆**体操部**
  - 新人大会 男子団体 優勝
  - 東北総合体育大会 鞍馬 優勝
  - 東北高校選抜 鞍馬 優勝
- ◆**サッカー部(男子)**
  - 県リーグ(D2) 1位
- ◆**サッカー部(女子)**
  - 新人大会 優勝 ●県大会 優勝
  - 第23回岩手県女子サッカーリーグ1部
  - ILAリーグ戦 優勝
  - 高総体 優勝
  - 全日本大会県大会 優勝
- ◆**柔道部**
  - 高総体 女子個人 48kg級 優勝
- ◆**卓球部**
  - 新人大会
  - 男子団体・ダブルス・シングルス 優勝
  - 女子ダブルス・シングルス 優勝
  - 高総体
  - 男子団体・ダブルス・シングルス 優勝
  - 女子ダブルス 優勝
  - 全日本大会県予選
  - 男子ジュニアの部 優勝
  - 東京大会県予選
  - 男子・女子ジュニアの部 優勝
- ◆**吹奏楽部**
  - 全日本マーチングコンテスト東北大会
  - 金賞受賞

## 2018

- ◆**軟式野球部**
  - 高総体 優勝 ●県大会 優勝
  - 新人大会 優勝
- ◆**陸上部**
  - 高総体 3000mSC 1位
  - 県選手権大会 3000mSC 1位
- ◆**体操部**
  - 高総体 団体 優勝
  - ゆか・あん馬 1位
- 東北総合体育大会 鞍馬 優勝
- 東北大会 鞍馬 優勝
- 新人大会 跳馬 1位
- ◆**サッカー部(男子)**
  - 東北総合体育大会 鞍馬 優勝
  - 東北大会 鞍馬 優勝
  - 県リーグ(D1・D2) 優勝
- ◆**サッカー部(女子)**
  - 高総体 優勝
  - 全日本大会県大会 優勝
  - 県選手権大会 優勝 ●新人大会 優勝
- ◆**卓球部**
  - 高総体
  - 男子団体・ダブルス・シングルス 優勝
  - 女子ダブルス 優勝
  - 東北ミニ国体 少年男子 優勝
  - 全日本大会県予選
  - ジュニアの部 シングルス 優勝
  - 一般の部・男子・混合ダブルス 優勝
  - 新人大会
  - 男子団体・ダブルス・シングルス 優勝
  - 女子団体・ダブルス・シングルス 優勝
- ◆**レスリング部**
  - 新人大会 女子個人 125kg級 優勝
  - 女子個人 優勝
- ◆**吹奏楽部**
  - 全日本マーチングコンテスト東北大会
  - 金賞受賞
- ◆**美術部**
  - 全国地域安全運動モデルポスター
  - 「住宅を対象とした侵入犯罪防止」
  - 最優秀賞受賞
  - 北上市明るい選挙ポスター
  - 最優秀賞受賞
  - 岩手県高文祭 絵画部門
  - 特賞受賞

## 2019

- ◆**軟式野球部**
  - 高総体 優勝 ●新人大会 優勝
- ◆**体操部**
  - 高総体 男子団体 優勝
  - つり輪 1位
  - 新人大会 男子団体総合 優勝
  - 床・跳馬・平行棒 1位
- ◆**サッカー部(男子)**
  - 高総体 優勝 ●新人大会 優勝
  - 県リーグ(D1・D2・D3) 優勝
- ◆**サッカー部(女子)**
  - 高総体 優勝
  - 全日本大会県大会 優勝
  - 新人大会 優勝
- ◆**レスリング部**
  - 高総体 女子個人 優勝
  - 新人大会
  - 男子個人 125kg級 優勝
  - 女子個人 優勝
- ◆**卓球部**
  - 高総体
  - 男子団体・ダブルス・シングルス 優勝
  - 女子ダブルス 優勝
  - 全日本大会県予選
  - ジュニアの部 シングルス 優勝
  - 新人大会
  - 男子団体・ダブルス・シングルス 優勝
  - 東京大会県予選
  - ジュニアの部 シングルス 優勝
- ◆**吹奏楽部**
  - 全日本マーチングコンテスト東北大会
  - 金賞受賞
- ◆**美術部**
  - 全国地域安全運動モデルポスター
  - 「防犯ポランティア」
  - 最優秀賞受賞
  - 岩手県明るい選挙ポスターコンクール
  - 最優秀賞受賞
  - 全国高等学校総合文化祭
  - 絵画部門 出展

## 2020

- ◆**軟式野球部**
  - 東北大会 優勝 ●新人大会 優勝
  - 秋季東北地区大会 優勝
- ◆**体操部**
  - 「Don't forget 2020」Gymnastics 優勝
  - 新人大会
  - 男子団体総合 優勝 個人総合 1位
  - 床・鞍馬・つり輪・跳馬・鉄棒・平行棒 1位
- ◆**サッカー部(男子)**
  - 新人大会 優勝
- ◆**サッカー部(女子)**
  - 県大会 優勝
  - 東北大会 2位 ●全国大会出場
  - 全日本大会県大会 優勝
  - 新人大会 県大会 優勝
- ◆**ソフトボール部**
  - 北奥地区新人大会 優勝
- ◆**卓球部**
  - 新人大会 男子団体・シングルス 優勝
- ◆**吹奏楽部**
  - マーチングバンド・パトントワーリング
  - 東北大会 金賞受賞
- ◆**美術部**
  - 防犯ポスター
  - 「安心安全なインターネット社会の実現」
  - 最優秀賞受賞
  - 北上市明るい選挙ポスター
  - 最優秀賞受賞



## 2021

- ◆**軟式野球部**
  - 高総体 優勝
- ◆**体操部**
  - 高総体 優勝
- ◆**サッカー部(男子)**
  - 高総体 優勝
- ◆**サッカー部(女子)**
  - 高総体 優勝
- ◆**卓球部**
  - 高総体 優勝
- ◆**吹奏楽部**
  - 県吹奏楽コンクール 金賞受賞



# 10年の栄光と飛躍

## 男子サッカー部



第98回 全国高校サッカー選手権大会 初出場

### 全国大会出場の経験と 今後について

監督 小原 昭弘



### 男子サッカー部の 歴史

#### ◇昭和39(1964)年度

チーム創立

#### ◇平成12(2000)年度

小原昭弘監督就任

#### ◇平成24(2012)年度

選手権岩手県大会決勝進出

(1-1 / P K 3-5 vs 盛岡中央)

#### ◇平成28(2016)年度

選手権岩手県大会決勝進出

(2-5 vs 遠野高校)

▪ 新人大会準優勝 (1-2 vs 遠野高校)

#### ◇平成29(2017)年度

新人大会準優勝

(0-0 / P K 4-5 vs 盛岡商業)

#### ◇平成30年(2018)度

高総体決勝進出 (1-3 vs 盛岡商業)

#### ◇令和元(2019)年度

▪ 高総体初優勝 (1-0 vs 盛岡商業)

▪ インターハイ 2回戦進出

(1回戦 3-2 vs 大社・島根、

2回戦 1-1 / P K 1-4 vs 京都橘・京都)

▪ 県リーグ1部2部3部で1位

▪ 選手権岩手県大会初優勝 (3-1 vs 盛岡商業)

▪ 新人大会優勝 (2-0 vs 盛岡中央)

▪ 選手権大会 2回戦進出

(1回戦 3-1 vs 龍谷・佐賀、

2回戦 0-0 / P K 5-6 vs 國學院久我山・

東京B)

創部から55年経った2019年6月、第71回岩手県高校総体の決勝において、長きに渡り岩手の高校サッカーを牽引し、岩手で唯一全国制覇の経験を持つ盛岡商業高校を1-0で破り、本校サッカー部に関わった全ての人々の悲願である県大会優勝を飾ることができました。同年、第98回全国高校サッカー選手権岩手県大会でも優勝を飾り、インターハイ・全国高校サッカー選手権と2つの全国大会に出場することを達成できました。全国大会では初戦を突破したものの、京都橘や國學院久我山と言った全国の名だたる強豪校と五分に渡り合いながらも惜敗し、岩手に専大北上ありとその名を轟かすことができたことと自負しています。

これもひとえに、本校サッカー部を様々な形でバックアップしていただいた皆さんのおかげです。赴任した際は本当に何もありませんでした…はじめに保護者会や後援会を設立していただきました。そして、選手のためにグラウンドにクラブハウスの設置、強化のためにバス購入など次々に手掛けてくださいました。強くなることを信じて、何度負けても応援して下さった皆さんのおかげと心から感謝しています。

今後の目標は、盛商・遠野のように、この岩手の高校サッカーを牽引できる存在になり、サッカーを通して北上ひいては岩手県全体を元気にさせる存在になりたいと強く思っています。今後ともご支援ご協力をお願い致します。

### OB会

#### これからの専北サッカー部に 期待すること

OB会会長 金田 亮



現監督の小原昭弘監督が就任20年目、悲願であった岩手県高校サッカーの頂点に立ち、初の全国大会出場を果たすことができた。チームスローガンである「栄光に近道なし」のように、地道な努力の成果と保護者会、後援会、OB会、学校等の多くのサポートがあってこそ、今の専北サッカー部があることを現役の選手たちには知ってもらいたい。また、今もたくさんのサポートを受けていることを忘れず、感謝の気持ちを持ってプレーしてほしい。

サッカーの技術だけでなく、小原監督の「人間性を高める」指導のもと、どんな分野でも活躍していける人材が、多く輩出されることを期待している。



2012年から2021年にかけて念願の全国大会初出場を叶えた  
男子サッカー部と女子サッカー部。  
それまでの道のりと遂行、10年を振り返りながら、  
全国大会の記憶と今後活躍する選手への想いを監督・OB(OG)会が語ります。

# 女子サッカー部



第25回 全日本高校女子サッカー選手権大会 初出場

## 女子サッカー部の 歴史

◇平成6(1994)年度  
チーム創立  
(同好会としてスタート 翌年部に昇格)

◇平成7(1995)年度  
▪ サッカー協会加盟  
▪ 県高総体準優勝(東北大会初出場)

◇平成11(1999)年度  
県高総体第3位

◇平成14(2002)年度  
八重樫恵理が県リーグ最優秀選手に

◇平成19(2007)年度  
県高総体第3位

◇平成20(2008)年度～平成22(2010)年度  
県高総体ベスト8

◇平成23(2011)年度～平成24(2012)年度  
県高総体第3位

◇平成25(2013)年度  
▪ 県高総体にて初優勝(東北大会出場)  
▪ 保護者会結成

◇平成26(2014)年度  
▪ 佐藤徳信監督就任  
▪ 県内5大会全て制覇(インターハイ出場)  
▪ 渡邊紗枝が県リーグ最優秀選手に

◇平成30(2018)年度  
全日本高等学校女子サッカー選手権大会  
全国ベスト16



## 全国大会出場の経験と 今後について

監督 佐藤 徳信

女子サッカー部が最初に全国大会に出場したのは、2014年度のインターハイでした。その大会では自分たちがやりたいことを出せず、全国大会のレベルの高さを感じました。その後、2016年度には冬の高校選手権に初出場をすることができましたが、ここでも勝つことはできませんでした。東北は勝ち抜けるものの全国では結果を残せないことが続きました。しかし、全国大会に出続けることで選手たちの意識に変化が出てきていることに気づきました。そして、1年生から全国を経験してきた生徒たちが3年生となった2018年度。3大会連続出場していた高校選手権で、関西の強豪、神戸弘陵と対戦し、初の全国での勝利をつかむことができました。

全国大会に出場し続けることで生徒たちは変わっていきました。「全国大会に出場すること」が目標でなく、「全国大会で勝ち上がること」が生徒たちの目標が変わっていきました。目標が高まることで、生徒たちは一層鍛錬するようになり、学校生活や学習面でもプラスの方向に変化しました。彼女たちの変化を見て、目標を持つことの大切さを感じました。

これからも女子サッカー部は高い目標を持ち、全国で勝ち上がれるチームを目指していきます。応援よろしくお願ひ致します。

## OG会

### これからの専北サッカー部に 期待すること

愛媛FCレディース所属 安藤百合香



私が高校1年生の時、創部以来初の全国大会(インターハイ)に出場することができました。インターハイ、それから選手権の全国でも自分たちのプレーはなかなか通用せず結果を残すことはできませんでした。全国に出場するのはもちろん、全国で勝つことの難しさを痛感しました。それでも前を向いて高い目標を持って活動し続けている後輩達が、私達の卒業後、東北予選で常盤木に勝ったり、全国で勝利したり、次々に歴史を塗り替え岩手を盛り上げていく姿を見てとても誇りに思います。私も1人のサッカー選手として専北の活躍に負けられないように頑張っていきたいと思います。これからも専北女子サッカー部の活躍を期待しています!

# 本校に想いを寄せて

平成24年～令和2年 歴代生徒会長より



平成24年度 生徒会長

渡邊 侑希

Watanabe Yuki

●日本ウェブサービス株式会社  
(名古屋支社)

創立70周年おめでとうございます。一卒業生として、70周年という節目を迎えられ、大変嬉しく誇らしく思います。在校生時代に創立60周年の記念式典があったことを考えると、卒業してから10年近く経っており、月日の流れる速さを改めて実感しているところです。

私の思い出の多くは生徒会活動にあります。その活動の中で当時の校長先生に言われた言葉が、今でも私の軸になっております。「陰の努力は目に見えないが、人間としての力がつく。自分の充実感是自己で評価するもので、自分の将来の力になるものです。」努力の結果はすぐ目に映るものばかりではありませんが、この言葉通り、後々自分の成長に必ず繋がっているなと感じます。

今でも同級生とは連絡を取り合い、近況を報告するなど交流が続いております。なぜか久しぶりに会うという感覚はなく、また明日以降も教室で会うような、そんな気持ちになる気の置けない仲間に出会えたことは、私の一生の宝物です。

最後になりますが、専修大学北上高校の益々のご発展とご活躍を心から願って、お祝いの言葉とさせていただきます。



平成25年度 生徒会長

安倍滉太郎

Anbai Koutaro

●合同会社DMM.com

「やばい。寝坊だ。今日0時間目がある日だった。」社会人になった今でもこんな夢を見ることがあります。0時間目の授業や、土曜日の課外授業。あんなにも過酷な生活をよく3年間も続けたなというのが、当手を振り返って一番最初に感じたことです。それと同時に、もし専大北上に通っていなかったら、今の自分は無いだろうなとも思います。

2年生の時、私は志望していた進路を大きく変えました。看護系からIT系という、分野も勉強する内容も全く異なる進路に変更したのです。普通であれば、苦言を呈されるところを、先生方が親身になってサポートしてくださいました。生徒一人ひとりに、担当する先生がいる。こんな学校、なかなかありません。多くの先生方のおかげで、私は志望していた大学に入学することができました。

現在私は高校時代の夢を叶え、AI(人工知能)エンジニアとして働いています。「合格したけど、もっと勉強を頑張らないとやっていけないよ。遊んでられないよ。」当時、鬼としか思っていなかった担任の言葉が忘れられません。勉強だけではなく、勉強をする大切さや、人としてどうあるべきか、これからの人生で必要なことなど、普通の高校であれば絶対に教わらないような多くのことを学ぶことができました。

明確にやりたいことがあれば、それを実現するために応援してくれる素晴らしい環境が専大北上高校にはあります。私が夢を叶えることができた大切な1歩目。それは専大北上で過ごした3年間でした。

専修大学北上高等





平成26年度 生徒会長

## 佐々木奈々子

Sasaki Nanako

●歯科おのぞら

高校を卒業して7年経った今でも、楽しかった思い出も辛かった思い出も全てハッキリと覚えています。

私の高校3年間で改めて振り返ってみると、本当に色々なことがあったと思います。私立高校ということから、県外中学出身者をはじめ知らない人が沢山いました。私は商業科だったので、簿記や電卓、パソコンなど初めての勉強が多く、最初は不安しかありませんでした。学校生活を送る中で、学習面では、覚えるのも理解するのも時間がかかってしまい、検定試験に何度も挑戦することになってしまいました。でも、先生たちが親身になって覚えるコツや理解できないところを徹底して教えてくれたので、卒業するまでには、様々な資格を取ることが出来ました。行事の面ではすべてが楽しかった思い出があります。3日間で行われるクラスマッチでは、先生との対戦があったり、沢山の競技の中で話したことがなかったクラスメイトと仲良くなれたり、クラス全体の仲が深まる行事でした。

私が特に思い出に残っているのは学園祭です。クラスで出店をしたりステージ発表があったり、クラスマッチのときよりもクラスが団結しました。沢山の思い出がある中で、専北に入ってよかったと改めて実感しています。私が感じる専北の魅力は、卒業してからも学校に会いに行ったり、相談があったら先生に連絡したりと、先生との信頼関係がとても築きやすいことです。行事が充実しているので、その中で色々な人と触れ合うことが出来、協調性やコミュニケーション能力を身につけられ、一生関わっていききたいと思う大事な友達ができます。

卒業後に県外に行った友達もいますが、今でも定期的にみんなで集まったり、連絡を取り合ったりしています。



平成27年度 生徒会長

## 及川 敏司

Oikawa Satoshi

●朝日エスティック株式会社

専修大学北上高校創立70周年、おめでとうございます。

私が卒業してから早6年が過ぎようとしています。今考えても当時の3年間は、私にとって非常に濃いものだったと思います。

私が専北で良かったこと、それは様々な経験ができる環境であったことです。部活動では裏方を、生徒会では会長を、勉強では苦手な分野の学部への進学をさせていただくことが出来ました。どれも私1人では出来なかったことで、やめてしまいたいと思ったこともありました。でもそんな私を助けてくれたのが、親身になって相談に乗ってくれたり励ましてくれたりした仲間や先生との存在です。私が失敗して落ち込んだ時や悩んでいるときに、もう一度頑張るための後押しをしてもらえたことが、今の私に繋がっていると感じています。

私とその高校生活の中でもとても印象に残っているのは、部活動の最後の大会です。私は硬式野球部に所属しており、1年生の終わりから裏方として活動していました。試合では記録員としてベンチに入り、3年生の夏の県大会でも記録員としてベンチ入りしていました。本来であれば入ることの出来ない空間に入れていただき、共に一喜一憂することが出来ました。私にとって忘れられない最高の経験であり、最後まで私を部員として置いてくださった監督さんはじめ、コーチ、チームメイトにはとても感謝しています。

最後になりますが、私が高校生活の中で経験したことは一生の思い出です。在校生の皆さんも専北で良かったと5年後・10年後もそう思える高校生活になることを願っています。

創立70周年本当におめでとうございます。

# 本校に想いを寄せて

平成24年～令和2年 歴代生徒会長より



平成28年度 生徒会長

松本 駿

Matsumoto Shun

●岩手県庁  
商工労働観光部

専修大学北上高校創立70周年おめでとうございます。もう高校卒業から5年が経ったと思うと、時間が過ぎるのは早いと感じています。

高校生活を振り返ると専修大学北上高校で学んだことは大学生生活、社会人生活においても基礎となるものでした。

専北には部活動など明確な目標で入学する学生が多い中で、私は何の目標もなく入学しました。そんな私でしたが、担任の先生や部活の顧問をはじめとした、多くの先生のおかげで可能性が広がりました。特に進路に迷っているときに、多くの選択肢が私にあることを教えてくださいました。そのおかげでしっかりと自分自身の将来について考えるようになりました。

また、高校生活を通して、継続し続ける土台が出来たと思います。部活動と生徒会活動の両立は大変でしたが、生徒会長としてクラスマッチや学園祭に向けて、試行錯誤しながら頑張ったのは良い思い出です。執行部の人達、先生方、クラスの協力がなければ成功出来なかったことは数多く、感謝しています。さらに、今思うとやりたい事に本気になって取り組んでいる同級生が多い環境はとても恵まれていました。勉強や部活動に加え、学校行事にも真剣に取り組む同級生の姿は眩しく、そのような環境のおかげで目標に向かって挑戦する力が少しずつ養われたと思います。貴重な3年間でした。本当にお世話になりました。

最後になりますが、専修大学北上高校が80周年、90周年と益々発展していくことを願っています。



平成29年度 生徒会長

久保 航大

Kubo Kodai

●専修大学  
ネットワーク情報学部

私は専大北上高校で、それまでは知らなかった新しい「私」を発見できたと思います。中学までの私は、1学年1クラスほどしかない小さな学校で、同級生も保育園から一緒に、兄弟のように何も考えず接することができました。人とのコミュニケーションで困ることはなかったと思います。高校では、「私」が入学した時点で全校生徒800人弱の生徒が在籍しており、同級生だけでも8クラスある、大きな学校でした。その中で今まで通りの自己表現をすることは難しく、塞ぎ込んでしまいました。

しかし、専北に集まった多様な人の中には、気さくに話してくれる人、時間と共に心を開いてくれる人など、様々な「私」を持った人がいました。そんな人たちと関わっていく中で、自分自身の好みや性格、どのような関係を求めるかなど、「私」がどのような人間なのか発見できたと思います。また、生徒会の活動を通して、クラスや学年関係なく、長期、短期、時には他校の高校生とも関わることもありました。そのことが、より「私」を理解するのに役立ったと思います。

現在、大学でさらに多くの人と関わることがありますが、高校で鍛えられたコミュニケーション力のお陰で、大学でも埋もれることなく「私」を表現できていると思います。今後、母校に誇れる人間になるために「私」磨きを頑張りたいと思います。

専修大学北上高等学校





平成30年度 生徒会長

角掛 一花

Tsunokake Ichika

●早稲田大学  
政治経済学部

この度は、専修大学北上高等学校が創立70周年を迎えられましたこと、心よりお祝い申し上げます。

さて、私が専修大学北上高等学校に在学しておりましたのは今から3年前のことです。私は特別進学コースに在籍しており、授業中やそれ以外の時間にも、先生方から多くのことを学びました。在学中に先生方からいただいた言葉の中で一番心に残っているものは、「勉強は、最後は1人でやるもの」という言葉です。この言葉は、何度も私を励まし、卒業後も生き方の指針になってくれています。また、生徒会活動では、様々な行事の企画、運営を通して校内外の人と関わりました。組織で動くことの難しさを痛感し、仲間と協力する方法を学ぶことができました。そして、私が勉強や生徒会活動に励むことができたのは、何よりも先生方のお力が大きかったと思います。何度も課外授業を開いてくださったり、進学に関する資料集めを手助けしてくださったりと、先生方には大変お世話になりました。生徒会の催しにおいても、先生方にたくさんの助力をいただいて、やっと成り立っていたようなものでした。優しく、頼もしい先生方に教えていただいたことが、私が専修大学北上高校に通えて幸運だと思う、最も大きな理由です。

末筆ながら、専修大学北上高等学校の今後の一層のご発展と、皆様方のご活躍をお祈りいたしまして、お祝いの言葉とさせていただきます。



令和元年度 生徒会長

工藤 美紀

Kudo Miki

●専修大学  
経済学部

私が専北に入って良かったと感じたことは、たくさんの人と出会えたことです。勉強を分かるまで親身になって教えてくださる先生や、いろいろな相談に乗ってくれる先輩、困った時に話を聞いて助けてくれる友人や後輩など、たくさんの素敵な人に出会えたことが良かったと思います。テスト前には分からないところを友達と一緒に先生に教えてもらったり、友人や先輩、後輩と生徒会室で話したりした事などが、とても印象に残っています。また、3年生の頃にはホームステイの受け入れを経験しました。普段、外国の方と交流する機会がなかったので、とても貴重な経験になりました。そして、その経験によってアメリカの経済や教育に興味を持つようになりました。

さらに、生徒会活動を通して自分が主体となって動くという事の難しさを学びました。私はもともとリーダーをやったり、誰かの先頭に立って行動したりするタイプではなく、サポートする方が向いていると感じていたので、学校の顔になるという責任感を常に持って行動することが新鮮であり、大変でした。しかし、たくさんの人の意見を聞いてまとめる力や、その場に応じて物事を対処する力などが身につきました。生徒会活動を通して、失敗することやうまくいかないこともありましたが、失敗することで自分が成長できたと思います。



令和2年度 生徒会長

葛巻 小夏

Kuzumaki Konatsu

●武蔵野大学  
グローバル学部

私が生徒会長を務めた年は、新型コロナウイルス感染症が蔓延し始め、新しい生活様式が強いられるとともに、行事の進行などにも大きな影響が生まれました。3年生になり、1ヶ月がたつ頃、休校生活が始まりました。登校できないため、家で課題や模試を受けました。始めは休校を喜びましたが、家で過ごしているうちに学校は勉強できる環境であることに気づき、学校が恋しくなりました。他校の行事が中止になっている中、専北は三大大行事すべて開催することが出来ました。クラスマッチは競技数を減らし、移動で混雑しないようにしたり、観戦は自分のクラスのみに行ったりと例年に比べると自由は少なかったと思います。そんな中でも楽しそうに参加している人が多くいて、運営側として嬉しかったです。文化祭は開催期間を減らし、生徒のみで行いました。一番工夫したのは食事です。校外からお客さんを招かないことで売り上げの目安がわからない状況に陥ったからです。そこで、前日に食券を買う制度を導入しました。売上目安がわかると同時にフードロス削減にもなったと思います。委員会とも協力し、より一体感のある行事になりました。全校ガイダンスや後期生徒総会などは感染症対策をしながら行いました。感染者を出さず、無事に行事を開催できたのは先生方のおかげです。本当にありがとうございました。

# コロナ禍を経て ～各部活動から～

— 令和2年度 キャプテンより —



硬式野球部 OB

粟野 元斗

Awano Gento

令和2年度 普通科卒

私たちは入学当初から甲子園出場を目標に努力してきました。しかし、その甲子園大会がなくなったという知らせを聞いたときは、正直やる気がなくなってしまいました。3年生だけでミーティングを重ねた結果、目標はなくなったけれど、これまで支えてくれた方々に最後まで努力して恩返ししようと、もう一度同じ方向に向かおうと3年生で意思を固めることが出来ました。これを決断できたのは後輩がこれまで支えてくれたおかげです。そんな後輩たちならば私たちが達成できなかった甲子園出場を達成してくれると思っています。これからもチーム全員で切磋琢磨し合いながら頑張ってください。



男子サッカー部 OB

岩淵 蓮也

Iwabuchi Renya

令和2年度 普通科卒

新型コロナウイルスの影響により、高校スポーツの祭典であるインターハイが、中止になりました。そのニュースを見たとき、「なんで自分たちの年代にこんなことが起きるのだろう」という気持ちになりました。目標を見失うとともに、現実を受け止めることができませんでした。けれども、同じ不安に苛まれている仲間たちと励まし合いながら、活動を再開しました。二度の活動自粛の期間は、自分と向き合える有意義な時間となりました。そして「サッカーができることは当たり前でない」ことを身に染みて感じました。幸いにも選手権大会は開催され、最後の舞台を用意していただきました。苦しい思いをしましたが、多くの人に支えられて生きていることを改めて実感でき、これから感謝の気持ちを日々忘れることなく生きていきたいと思っています。



女子サッカー部 OB

泉 穂奈美

Izumi Honami

令和2年度 普通科卒

今年は「東北チャンピオンになり全国ベスト4」という目標を立て、その目標を叶える大会の1つのインターハイが中止となりました。先が見えない不安が大きく、やり場のない気持ちを抱えながら長い期間練習に取り組み続けていましたが、うまくチームもまとまらず、とても苦しかったです。サッカー競技は幸いにも冬の選手権が残っていたため、全ての気持ちをそこにぶつける形で立て直すことができました。当たり前ですがサッカーができていて嬉しさを、選手権では新たな歴史を刻むことができてよかったです。1・2年生は周りの方への感謝を忘れず、サッカーを楽しんで頑張ってください。



卓球部 OB

池田 陽翔

Ikeda Haruto

令和2年度 普通科卒

大きな目標であった岩手インターハイの中止。受け止められずいた時、OB・OG対抗戦を開催してもらえることを知り、それを目標にして練習に向かうことができました。当日は30名を超える先輩方に最高の舞台を作って頂きました。

「インターハイは最終目標ではなく通過点、この経験は必ず自分の力になる」野田先生やコーチからかけてもらった言葉と、共に頑張ってきた仲間がいたから乗り越えることができました。

1・2年生には、どんな時も目標に向かって努力できる最高のチームを作っていってほしいです。



ソフトボール部 OB

小原 愛加

Obara Manaka

令和2年度 商業科卒

コロナウイルスの影響で高総体がなくなったと知ったとき、私たち3年生は監督と今の気持ちを確かめ合い、引退の時期を決めました。引退の日を迎えるまでの限られた時間の中で、少しでも仲間と一緒に練習ができるようになったことは嬉しかったものの、目標がなくなり向上心を保ったまま練習することは大変でした。辛い日々の中、できる限り試合を組んでくれた監督に感謝しています。最後の試合で、沢山の方々に今まで努力してきた姿を見せることができました。悔しい思いをしましたが、それ以上のことを得られたと思います。今なお厳しい状況が続いていますが、後輩たちには悔いが残らないよう、健闘を祈っています。



軟式野球部 OB

澤田 悠

Sawada Yu

令和2年度 商業科卒

私たちは『全国制覇』という目標を持って日々の練習に励んでいましたが、コロナウイルスの影響で全国大会がなくなり目標を失ってしまいました。そんな中で代替大会、東北大会が開催されることとなり、目標を東北大会優勝に切り替え、再び練習に取り組みました。チーム一丸となって挑んだ岩手県大会、東北大会で優勝を果たし、目標を達成することができました。このような結果を残せたのは、最後まであきらめずに取り組んだ3年生の姿勢とそれに付いてきてくれた後輩の協力のおかげです。後輩には、自分たちが果たせなかった『全国制覇』を成し遂げてほしいです。



令和2年度、新型コロナウイルス感染拡大を受け、第72回岩手県高等学校総合体育大会は止む無く中止となりました。当時のキャプテンから、その時の体験を振り返り、今後の想い、これからの部員に伝えたいことを綴ってもらいました。



陸上競技部 **OB**

## 菊池 柁平

Kikuchi Shuhei

令和2年度 普通科卒

今年は、新型コロナウイルスの影響で、多くの大会がなくなり、目標が見つからず練習にも身が入らない状態が続いていました。このような状況の中でも、岩手県選手権大会や県高校駅伝大会が開催され、私達は関わってくれた全ての関係者に感謝し、その気持ちを走りや結果で示せるように頑張ってきました。数少ない大会だからこそ、ひとつひとつの練習は勿論のこと、試合に対する気持ちは今まで以上に強いものがありました。コロナ禍で学んだことは、様々な工夫することで多くの困難を克服することが出来るということを学びました。



体操部 **現3年**

## 服部 圭俊

Hattori Kai

令和2年度 普通科

コロナの影響で学校が休校となり、自宅や寮での筋力トレーニングのみ。満足に納得のいく練習が出来ない日々が続きました。さらに、インターハイや国体も中止となり目標を見失いそうになりました。それでも県内の演技会や新人戦が行われたことにとても感謝しています。私はインターハイの代替試合となる「全日本高等学校体操競技選抜鯖江大会」に出場するチャンスを得ました。しかし実際に行ってみると全国から選抜された選手だけの大会とあって自分自身のレベルに恥ずかしさを覚え、改めて「もっと上手になりたい」と心の底から思いました。そして、全国大会へ出場することの重要さに初めて気づくことが出来ました。この感じたことを全国大会に出場できなかった他の部員に伝え、もっと良い部活にしていきたいです。



男子バスケットボール部 **OB**

## 佐藤 佳輔

Sato Keisuke

令和2年度 普通科卒

『ベスト8の壁を破る』これがチームの目標でもありキャプテンとしての使命でもあったと感じていました。常に上を目指し3年生全員でチームを引っばってきました。しかし、感染症の影響により大会が中止となり目標を達成させることが出来なくなってしまいました。悔やんでも悔やみきれない想いがありましたが、その気持ちに負けず3年生全員の気持ちを一つにして最後の引退試合まで粘り強く練習し、最後までやり抜きました。自分の気持ちに伝えてくれた3年生、そして最後までついてきてくれた1・2年生には本当に感謝です。ありがとうございました！最後に新チームのみなさんへ。バスケが出来ることに感謝を忘れず頑張ってください！諦めたらそこで試合終了だよ。



女子バスケットボール部 **OB**

## 八重樫萌花

Yaegashi Moeka

令和2年度 普通科卒

「今まで何のために頑張ってきたのだろう。」誰もが思うことだと思います。私たちの部活では様々なトラブルがありました。顧問が2回替わり、一時期とても少ない人数で活動し、練習が儘ならないときもありました。だからこそ、私達3年生4人は「高総体中止」という現実を受け入れられませんでした。でも、「今まで頑張ったことは無駄ではない。むしろいい経験になった。」とお互い励まし合い、次の世代に託すという選択をしました。後輩達には、常に前向きな姿勢を持ち、今このように普通に部活動ができる環境に感謝することを忘れず、1日1日を大切に過ごして欲しいと思います。頑張ってください。



男子バレーボール部 **現3年**

## 浅水 尚翔

Asamizu Naoto

令和2年度 商業科

僕たち、男子バレーボール部は、3年生が少ない中、高総体に向けて、日々練習してきました。しかし、大会は中止となり、高総体で引退を決めていた3年生にとって、けじめの試合が無くなってしまいました。自分としても、3年生と一緒に試合ができる最後のチャンスが無くなってしまい、とても残念でした。しかし、気持ちを切り替えて、今後の試合に向けて頑張ります。また、期待できる1年生とともに、日々厳しい練習に励み、自分たちの技術を磨きます。

スローガンである「信頼・団結・闘志」を胸に、勝ちに向かって努力していきたいです。



女子バレーボール部 **OB**

## 千田 茉采

Chida Maya

令和2年度 商業科卒

「高総体中止」その言葉を聞いて涙が止まりませんでした。今までの練習の成果を発揮する場がなくなり、私たち3年生は今後どうするのか悩み続けました。そして、まだ大会が残っているので、気持ちを切り替えて取り組もうと決心しました。卒業後の進路対策もすっかり取り組み、部活動との両立を図りました。以前と比べて、練習時間は短くなりましたが、最後の大会では、みんな笑顔で最後まで試合に挑むことができました。正直、辛いこともありました。楽しいことも沢山ありました。

最後に後輩の皆さんへ。今後も女子バレーボール部を盛り上げていってください。これからも応援します。期待しています。

# コロナ禍を経て



バドミントン部 **OB**

## 八重 檉輝琉

Yaegashi Hikaru

令和2年度 自動車科卒

新型コロナウイルスの影響により高総体中止が決定し、目標にしていた県高総体団体優勝を成し遂げることができなくなってしまい、とても残念な気持ちと悔しい気持ちがありました。中止が決まってからは目標に向かった練習ができず、どことなくチームのモチベーションが下がっていたように感じました。それでも私はキャプテンとして引退する最後までチームをまとめ、練習を盛り上げ牽引してきました。後輩達にはこのような思いをして欲しくないの、いつどんなトラブルが起きても引退する最後まで悔いの残らないようにこれからの練習に一生懸命、取り組んで欲しいと思います。



ソフトテニス部 **OB**

## 佐々木 琉生

Sasaki Rui

令和2年度 自動車科卒

私は新型コロナウイルスによる大会中止という話を聞いて正直うれしい気持ちもありました。毎日の部活がなくなり開放されて、すがすがしい気持ちがありました。でも、心のどこかでは悔しさというかやりきれないというか、そんな何とも言えない気持ちがありました。

私たちは、大会で結果を残せるほど実力のある部活とは言えませんが、毎日日々の努力は欠かさず行ってきました。なので、大会がなくなったの悔しさは強豪校に比べ少ないのかもしれませんが、私たちも多少なりとも頑張ってきたので悔しかったです。後輩へは、悔いが残るような日々の暮らし方をしてほしくはないので、1日1日を大切にしていって欲しいです。



レスリング部 **OB**

## 小林 慎之介

Kobayashi Shinnosuke

令和2年度 商業科卒

新型コロナウイルスの影響を受けて、大会中止や休校などよりも、状況が大きく変わった状況でのスタートとなり、3年生としては物足りない1年となりました。全部の大会が中止になり、3年間のまとめができずに終わり、気持ちの整理がつきませんでした。しかし、後輩にはこれからの目標をしっかり立てて、これから大会が再開する中で、少しずつ前を向き力をつけて欲しいです。最後に、私たち3年生はレスリング部で培った、体力と精神力を社会人として生かすとともに、これから自分たちがやるべきことに全力を尽くしたいと思います。



剣道部 **現2年**

## 鈴木 貫太

Suzuki Kanta

令和2年度 普通科

5月に行われる予定だった県高総体剣道競技は、コロナウイルスの影響で中止になりました。剣道は対人競技で密になりやすく感染リスクが高い為、大会を楽しみに厳しい稽古に励んできましたが、中止の判断は、やむを得ないと思いました。しかし、私たち部員2名は、まだ現役なのでこの大会が最後ではありません。気持ちを切り替えて、県新人戦で優勝という目標を掲げて日々の稽古に一生懸命に励みました。結果は、第3位でした。その時、剣道ができる事、当たり前前の事がいかに尊いことかを感じました。このコロナウイルスの状況の中、すべてのことに感謝の気持ちを持ち、逆境を乗り越え、来る高総体で輝けるように稽古に励んでいきたいと思っています。



柔道部 **OB**

## 佐々木 維吹

Sasaki Ibuki

令和2年度 商業科卒

私たち柔道部は、完全接触型の競技なので実質的な影響として試合はおろか、練習さえ制限されてしまうような状態でした。

新型コロナウイルスによって影響を受けた競技は多数ありますが、武道に関しては他の競技よりも多く制限をされているように感じます。

どうして私たちの最後の年に被ってしまったのかと、何度も考えました。ですが、考えても答えは見つかりませんでした。そこで私たち3年生は、柔道を続けた証として三段を取得しました。これまでの努力は無駄にならないと信じ、今後も頑張っていきたいです。



吹奏楽部 **OB**

## 及川 七海

Oikawa Nanami

令和2年度 普通科卒

休校期間が明け、大会中止を聞き、言葉にできない悔しさが込み上げてきました。現実をすぐに受け止められませんでした。多くの方々のおかげで演奏会を開催することができました。「私達の演奏で元気を届けたい」という気持ちを胸に、仲間とともに前を向いて活動できるようになりました。特にこだわったのは定期演奏会でした。お客さんの前で演奏できることへの喜びを精一杯表現し、会場が一つになるような感動的なステージを作ることができました。どんな状況でも、「全力前進～昨日の自分を越せ～」を合言葉に、これまで多くの困難を乗り越えてきたSENSHU BRASS。今後も、伝統と誇りを持った活動を楽しみにしています。





自動車部 **OB**

## 菅原 蒼磨

Sugawara Soma

令和2年度 自動車科卒

自動車部は大会が無いので新型コロナウイルスの影響は特にありませんでした。しかし、オープンスクールや学園祭で来てくれる中学生たちに自動車について教えるときに感じたことがあります。それは、昨年と違い、コロナウイルスの影響で各日程が短縮され、満足したものが出来なかったことです。

最後に、自動車部の1、2年生には今年自分たちができなかった事を実施して、充実した部活動を行い、今まで以上に楽しいものにしてほしいです。



美術部 **OB**

## 家子 麗奈

Ieko Reina

令和2年度 普通科卒

美術部は基本的に個人制作の活動がメインであるため、他の部活のように活躍の場が奪われてしまうことはありませんでした。しかし、毎年県内の高校生の作品が一堂に会する高文祭美術工芸展の出品に際しては、表彰式及び講習会の中止や、1週間前からの検温、対人距離の確保等の感染症対策が徹底されています。活動自体は個人制作であります。部員一人ひとりが学校・家・公共施設といったようなそれぞれの生活の場を持つため、リスクを常に考えて行動したいと感じます。今だに感染拡大の勢いは止まず、先が見通せない状況ではありますが、1・2年生のみなさんには今まで通りの作品制作を心がけてほしいです。



書道部 **OB**

## 及川 楓華

Oikawa Fuka

令和2年度 普通科卒

書道部では、高文祭は開催されたもののセミナーサポートは行われず、中止になった作品展もありましたが、普段出品している作品展は開催され、普段の部活動も個人の取り組みが主なので、練習制限や大会中止、無観客開催となった運動部のような大きな影響を受けた訳ではありません。それでも、学園祭が校内公開となり、一生懸命書いた作品を多くの人に見てもらう機会が減ってしまったのはとても残念でした。しかし、1月の市内合同作品展が無事に開催された事は良かったと思っていますし、関係者の方々には心から感謝します。

後輩達には、練習できる環境があることを当たり前と思わず、時間を大切に、1枚でも1文字でも多く書いて、満足のいく作品を仕上げたいと思います。



茶道部 **現3年**

## 小原 果椰

Obara Kaya

令和2年度 普通科

私たち茶道部は、コロナの影響で学園祭のお茶会を例年通りに行うことができなくなりました。時間は2時間で1日のみとなりましたが、対策を行いながら部員全員が協力し、助け合ってなんとかお茶会を無事行うことができました。慣れないことばかりで大変でしたが、短い時間でもお点前を披露することができて嬉しかったです。

その後、私たちは1月のお茶会に向けて練習をしていました。ところが、数少ない機会であるそのお茶会も中止になってしまいました。とても悲しく残念ですが、いつ再開してもいいように、美しいお点前を忘れないよう練習の1回1回を大切に活動していきたいと思いません。



総合探究部(旧IT部) **OB**

## 齋藤 蓮

Saito Ren

令和2年度 普通科卒

今回の新型コロナウイルスの悪影響はIT部には特に生じませんでした。機材トラブルが無い限り、さほど活動に影響は出ませんでした。

むしろ、リモートワークの必要性が上がってきたことで、ITのスキルが重視されると予想すると、将来にわたって一層部活動の存在意義を感じました。ITのスキルは今後ますます求められると思います。大学に行っても会社に勤めても使えるものです。

つまりIT部はいつでも活動できるということです。これは恵まれた事でもあるので、後輩達には無駄にしては欲しくありません。部の名称も変わるわけですが、個々のITスキルの向上に一人ひとり勤勉に努めて欲しいと願っています。



郷土芸能部 **OB**

## 工藤秀汰郎

Kudo Shutaro

令和2年度 普通科卒

高文発表会の中止はありませんでしたが、今年はイベントの中止が多く、演奏を披露することができず、深く悲しかったです。イベントで発表できなかった分、部員をまとめることや高文発表会に向けての練習を集中して取り組むことができ、本番では部員全員がひとつになり、納得した演技ができたので良かったです。

私が卒業した後もイベントや大会の中止があるかもしれませんが、練習を怠らず、メリハリをつけて取り組み、郷土芸能部を支えてください。

## PTA活動史 [平成24年度～令和3年度]

### 平成24年度

- 4月 PTA総会 会長 伊東 格氏
- 6月 22地区で第35回地区別教育懇談会  
222名参加  
部活動保護者会・初開催 24名参加
- 10月 PTA研修 仙台周辺52名参加
- 12月 PTA会報「緑の風」第26号発行

### 平成25年度

- 4月 PTA総会 会長 八重樫 幸夫氏
- 6月 23地区で第36回地区別教育懇談会  
233名参加
- 10月 PTA研修 五所川原33名参加
- 12月 PTA会報「緑の風」第27号発行
- 1月 部活動保護者会

### 平成26年度

- 4月 PTA総会 会長 八重樫 幸夫氏
- 6月 22地区で第37回地区別教育懇談会  
233名参加
- 9月 PTA研修 福島・白石24名参加
- 12月 PTA講演会  
PTA会報「緑の風」第28号発行
- 1月 部活動保護者会

### 平成27年度

- 4月 PTA総会 会長 伊藤 英明氏
- 6月 22地区で第38回地区別教育懇談会  
261名参加
- 11月 PTA研修 仙台・塩釜52名参加
- 12月 PTA会報「緑の風」第29号発行
- 1月 部活動保護者会

### 平成28年度

- 4月 PTA総会 会長 三田 雅崇氏
- 6月 22地区で第39回地区別教育懇談会  
268名参加
- 9月 PTA研修 山形・酒田30名参加
- 12月 PTA会報「緑の風」第30号発行
- 1月 クラブ保護者会連絡会 (名称変更)

### 平成29年度

- 4月 PTA総会 会長 佐々木 信明氏
- 5月 第29回東北父母懇話会花巻集会 3名参加
- 6月 20地区で第40回地区別教育懇談会  
261名参加
- 9月 クラブ保護者会連絡会24名参加  
PTA研修 秋田・男鹿41名参加
- 12月 PTA会報「緑の風」第31号発行

### 平成30年度

- 4月 PTA総会 会長 高橋 正憲氏
- 6月 クラブ保護者会連絡会16名参加  
第30回東北父母懇話会青森集会 2名参加  
19地区で第41回地区別教育懇談会  
166名参加
- 10月 PTA研修 仙台74名参加
- 12月 PTA会報「緑の風」第32号発行

### 平成31年度・令和元年度

- 4月 PTA総会 会長 高橋 勝幸氏
- 6月 クラブ保護者会連絡会25名参加  
第31回東北父母懇話会秋田集会 5名参加  
19地区で第42回地区別教育懇談会  
157名参加
- 10月 PTA研修 (中止)
- 12月 PTA会報「緑の風」第33号発行

### 令和2年度

- 4月 PTA総会 会長 高橋 勝幸氏  
(PTA総会は書面審議で行う。)  
地区懇談会・PTA研修 (中止)
- 12月 PTA会報「緑の風」第34号発行

### 令和3年度

- 4月 PTA総会 会長 高橋 稔至氏  
(PTA総会は書面審議で行う。)  
地区懇談会・PTA研修 (中止)
- 12月 PTA会報「緑の風」第35号発行

## 同窓会活動史 [平成24年度～令和3年度]

### 平成24年度 会長 高橋侃大

- 7月 平成24年度定期総会  
ホテルシティプラザ北上 130名参加
- 9月 仙台支部定期総会  
パレス平安 23名参加  
東京支部定期総会  
東京ガーデンパレス 36名参加
- 10月 花巻支部定期総会  
ホテル花城 35名参加  
付属四校連絡協議会・専修大学松戸高等  
学校同窓会50周年記念式典  
専修大学松戸高等学校 19名参加
- 11月 胆江支部定期総会  
ブラザイン水沢 25名参加

### 平成25年度 会長 高橋侃大

- 7月 平成25年度定期総会  
ホテルシティプラザ北上 113名参加
- 8月 盛岡支部定期総会  
ホテルルイズ 21名参加
- 9月 仙台支部定期総会  
パレス平安 15名参加
- 10月 東京支部定期総会  
東京ガーデンパレス 43名参加  
花巻支部定期総会  
ホテル花城 35名参加
- 11月 胆江支部定期総会  
ブラザイン水沢 23名参加



### 平成26年度 会長 高橋侃大

- 7月 平成26年度定期総会  
ホテルシティプラザ北上 95名参加
- 9月 盛岡支部定期総会  
ホテルルイズ 22名参加  
仙台支部定期総会  
パレス平安 18名参加
- 10月 東京支部定期総会  
東京ガーデンパレス 46名参加  
花巻支部定期総会  
ホテル花城 21名参加
- 11月 胆江支部定期総会  
プラザイン水沢 24名参加

### 平成27年度 会長 高橋侃大

- 7月 平成27年度定期総会  
専修大学北上高等学校体育館 118名参加
- 9月 仙台支部定期総会  
ホテル白萩 12名参加
- 10月 東京支部定期総会  
東京ガーデンパレス 37名参加  
盛岡支部定期総会  
ホテルメトロポリタン盛岡ニューウイング 34名参加  
花巻支部定期総会  
ホテル花城 27名参加
- 11月 胆江支部定期総会  
プラザイン水沢 27名参加

### 平成28年度 会長 高橋侃大

- 7月 平成28年度定期総会  
ホテルシティプラザ北上 83名参加
- 9月 仙台支部定期総会  
ホテル白萩 12名参加  
花巻支部定期総会  
ホテル花城 30名参加
- 10月 東京支部定期総会  
東京ガーデンパレス 31名参加  
盛岡支部定期総会  
ホテルメトロポリタン盛岡ニューウイング 34名参加
- 11月 付属四校連絡協議会  
司ロイヤルホテル(熊本)  
胆江支部定期総会  
プラザイン水沢 30名参加

### 平成29年度 会長 高橋侃大

- 7月 平成29年度定期総会  
ホテルシティプラザ北上 68名参加
- 9月 仙台支部定期総会  
パレス平安 19名参加  
花巻支部定期総会  
ホテル花城 23名参加
- 10月 東京支部定期総会  
東京ガーデンパレス 35名参加  
盛岡支部定期総会  
ホテルメトロポリタン盛岡ニューウイング 30名参加
- 11月 胆江支部定期総会  
プラザイン水沢 38名参加

### 平成30年度 会長 高橋 勝

- 7月 平成30年度定期総会  
ホテルシティプラザ北上 95名参加
- 9月 仙台支部定期総会  
パレス平安 15名参加  
花巻支部定期総会  
ホテル花城 23名参加  
付属四校連絡協議会  
ホテル千秋閣 18名参加
- 10月 東京支部定期総会  
東京ガーデンパレス 25名参加  
盛岡支部定期総会  
ホテルメトロポリタン盛岡ニューウイング 31名参加
- 11月 胆江支部定期総会  
水沢グランドホテル 36名参加

### 令和元年度 会長 高橋 勝

- 5月 専修大学附属高等学校創立90周年式典  
会長参加
- 7月 令和元年度定期総会  
プランニュー北上 58名参加
- 9月 仙台支部定期総会  
パレス平安 19名参加  
花巻支部定期総会  
ホテル花城 22名参加
- 10月 東京支部定期総会  
東京ガーデンパレス 25名参加  
盛岡支部定期総会  
ホテルメトロポリタン盛岡ニューウイング 31名参加
- 11月 胆江支部定期総会  
水沢グランドホテル 36名参加

### 令和2年度 会長 高橋 勝

- 7月 令和2年度定期総会  
ホテルシティプラザ北上(中止)
- 9月 仙台支部定期総会 パレス平安(中止)  
花巻支部定期総会 ホテル花城(中止)
- 10月 東京支部定期総会  
東京ガーデンパレス(中止)  
盛岡支部定期総会  
ホテルメトロポリタン盛岡ニューウイング(中止)
- 11月 胆江支部定期総会  
水沢グランドホテル(中止)

### 令和3年度 会長 佐藤 整

- 7月 令和3年度定期総会  
ホテルシティプラザ北上(中止)

# 変わる 専北

## これから10年、さらにその先へ



令和3年 専修大学北上高等学校  
生徒代表

生徒会長 伊藤悠太郎  
Ito Yutaro

専修大学北上高等学校が創立70周年を迎える、このタイミングで生徒会長を務めていることに、とても喜びを感じています。また、長い歴史の中で10の節目を迎えた会長が7人しかおらず、その中の1人が自分であることを誇らしく思います。

この文章を書くにあたり、過去10年の生徒会長の文章を読ませていただきました。それぞれが様々な進路で努力・活躍されていて、自分もいずれこのようになりたいと心から思いました。先輩方の文章を読みながら、ふと両親のことが浮かびました。私の両親はどちらも本校の卒業生です。(ちなみに姉も卒業生で、専北一家です。)私が学校での話をすると、自分たちの高校時代の話をしてきます。良い話もあれば文句になるときもあるのですが、いつも楽しそうに、自慢げに話してきます。まるで昨日のことのよう。先輩方の文章からは、その両親の様子と同じものを感じました。行事や部活動での思い出、先生方への感謝などが生き生きと書かれていて、またそれは、自分が現在感じていることと同じようなことであり、専北の校風は10年の時を経て変わらぬ、脈々と受け継がれてきているのだと思います。生徒の人の良さ、先生方の生徒に寄り添い向き合う熱心な姿勢は、長い年月をかけて出来上がった、立派な専北の特長と呼べるでしょう。私のこれまでの2年半も、すでに語り継ぎたいほどの充実した濃い時間ですが、残り



少ない高校生活も、より一層輝きを増すように過ごしていきたいと思っています。

これからの専北生に求められることは、更なる進化と専北の良さを残していくことだと思います。いま専北はカリキュラムの変更、校舎の建て替えがあり、大きな変化を迎えています。生徒自身が、学習や部活動に臨む姿勢を向上心・探究心をもって見直し、磨き上げ、地域から愛される学校を目指していかねばなりません。加えて、長い歴史を経て積み上げられてきた専北の特長をこれからも大切に、誇りとしていくべきです。それらが、今この節目を迎えた専大北上高校にいる私たちの使命なのでしょう。社会の変化がめまぐるしい今の時代にも変わらないものとして、本校の良さを継承し、様々な分野で更なる進化を目指して、私たちはこれからも精進し続けていきます。

改めまして創立70周年を祝うとともに、私たち専北生と専大北上高校の、今後の更なる飛躍をここに約束いたします。





2023年新校舎完成イメージ



## 編集後記

2020年は新型コロナウイルスが世界的に蔓延し、「新しい生活様式」が求められるなど、社会に大きな混乱もたらされた年でした。本校においても、二度の休校措置、修学旅行・海外研修の中止など、今まで経験したことのない影響を受けました。その中において、例年通りクラスマッチを3日間開催し、学園祭を非公開ながら実施しました。生徒を中心に教職員が力を合わせてこの困難な局面を乗り越えようという気概あふれる取り組みが見られましたが、これは長きにわたって築いてきた「専大北上」の伝統がなせる業と言っても過言ではないでしょう。

2021年、本校は70周年を迎えました。たとえどんな予想できない社会の変化に見舞われたとしても、80周年に向けて着実に歩んでいくであろうことを確信しています。在校生、卒業生および保護者の皆様、より一層のご支援ご鞭撻を心よりお願い申し上げます。

最後になりましたが、この記念誌の発行に際しまして、ご指導ご尽力くださいました関係者の皆様に衷心より感謝申し上げまして、結びとさせていただきます。

## 専修大学北上高等学校創立70周年記念誌

発行／2021年(令和3年)9月

発行者／学校法人北上学園 **専修大学北上高等学校**  
〒024-8508 岩手県北上市新穀町2丁目4-64  
☎0197-63-2341(代表)

編集／70周年記念誌編集委員会

印刷／永代印刷株式会社  
〒020-0857 岩手県盛岡市北飯岡一丁目8-30  
☎019-636-0011(代表)

専修大学北上高等学校70周年記念キャッチフレーズとシンボルマーク  
商業科 山本校小花(シンボルマーク)／普通科 小松 瑠輝(キャッチフレーズ)



2023年新校舎完成イメージ

## 専修大学北上高等学校校歌

作詞 佐伯 郁郎

作曲 石井 五郎

一、  
遥かに遠き山脈を  
雲ゆるやかに流れたり  
光は空にみなざりて  
みどりに燃ゆる萩の江に  
われら若人夢翔けて  
あこがれ清くつどいたり  
あこがれ清くつどいたり

二、  
北上和賀のもろ川の  
せせらぎ高く水長し  
岸边にめぐむ若草の  
生命にふれし友愛に  
ちぎりも固くむすばれて  
あゝ青春の幾星霜  
あゝ青春の幾星霜

三、  
時代の流れ時のおと  
若き想いは満ちみちて  
いそしみ絶えずひとすじに  
もとめる真理深くして  
若き精神に誇りあり  
若き精神に誇りあり  
若き精神に誇りあり

